

Coospaceという大学のサイトで、授業ごとにフォルダがあり、授業関係書類がいつでも見れるようになっており便利でした。教授への質問もそのサイトを通していつでも尋ねることができました。私の受講した授業では、親切な教授が多かった印象です。

精神面でのサポート

学生用の相談所は大学に用意されていました。入学オリエンテーションで紹介がありました。

生活・住居面でのサポート

入学オリエンテーションの日にビザの切替手続きや携帯のデータ契約、困ったときに相談できる大学の機関などの生活面でのサポートがありました。ビザに関しては、移民局の情報がわかりにくかったので助かりました。

2. 生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

交換留学生として半年間もしくは1年間留学するのであれば、大学が提供している寮に滞在することがオススメです。しかしキッチン、洗濯機が各階ごとに共同のものが一つしかありません。人数に対して数が十分ではないので待ち時間が出ることがあります。寮にはもちろん学生しか滞在しておらず、中心地で交通の便も良く駅から徒歩2分ほどの好立地なので、安心して暮らせると思います。一番の寮で過ごすメリットは、友達を作りやすいことだと思います。

(2) パソコンについて

PCの保有状況：☒日本から持参した ☐現地で購入した ☐保有しなかった

Wi-Fiの有無：☒有 ☐無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

寮にWi-Fiが付いていました。家賃に含まれていました。特に繋がりにくいなどの問題はありませんでした。

大学でのPCの使用可否：☒使用できた ☐使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

図書館にあるパソコンは無料で利用できました。小さな図書館であったため、パソコンの数に限りがあります。

(3) 医療について

Health center (大学内施設として)の有無：☐有 ☒無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

基本的に日本よりも乾燥しており、季節の変わり目の急激に気温変化には体調を崩してしまうことがありました。日本から風邪薬、塗り薬など使い慣れているものは一式持参することをお勧めします。ハンガリーの病院は英語が通じなかったり日本のようなサービスは整っていないです。

(4) 銀行口座について

留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

銀行口座は作りませんでした。基本的にクレジットカードで生活できます。現金が必要なときには日本円からハンガリーフォリントに換金しました。寮の近くのレートがいい換金所を利用しました。

(5) 異文化体験について

留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

母語のハンガリー語のみを話す人々は英語を話す人に対して冷たい印象です。不条理な苛立ちをぶつけられることもあります。初めは戸惑いましたが、日本のような親切なサービスは期待しないようにしてからは慣れました。週末は食料品店など夕方で閉まります。日本と違いクリスマス期間中やバンクホリデーはお店が開かないので注意が必要でした。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

ボランティアは行いませんでしたが、インターナショナル生団体のBrastilava tripやアクティビティに参加していました。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

外国人への態度は冷たいハンガリー人ですが、害を与えられることはありません。観光客を狙いホームレスの方は話しかけて来ますが、言語がわからないふりすることを心がけました。道路に設置されているATMはお金を騙しとる危険があると聞いたことがあるので（本当かはわかりません）、ATMを使うときは銀行の中にあるものを利用しました。

3. 後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

旅のヒントBOOK、ハンガリー・ブダペスト
旅の指差し会話帳、ハンガリー（ハンガリー語の授業で日本語で理解したい時に役立ちました。）
ハンガリーに関する出版物が少なく、得ることのできる情報がかなり少なかったです。

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

ブダペストは都会で簡単に手に入れることができるので物に不自由することはほとんどありませんでした。敢えて言うならば、薬類。また9月中は想像より気温が高かったので半袖を何枚か持参すればより良いと思います。

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

語学力：留学前－資格試験名称 TOEIC 895 点(級)
 留学後－資格試験名称 _____ 点(級)

2月に学内TOEIC、3月にTOEIC公開テストを受験予定です。

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

調理中にやけどを負ってしまったのですが、日曜日だったこともあり、すぐに診てくれる病院がなかったことです。留学中は特に注意不足を警戒するべきだと反省しました。

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

授業タイプが100人ほどの大人数で行われる講義と、10名から15名ほどで行われるセミナーの2種類ありました。専門科目を少人数で受けることは新鮮で、教授とクラスメイトとの距離がかなり近くより集中して授業に取り組めました。成績評価も、教授が一人一人をしっかりと見ているなという印象でした。国際関係学部では熱心な生徒が多く、質問が多く出る能動的な授業でした。ハンガリーのテストではカンニングが主流なのか、注意しない教授に不満でした。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

現地でたまたま興味があった企業の面接が行われていたので参加しました。
 他にも春に開催されるインターンシップへの応募を数社行いました。
 同時にSPIの勉強も時間がある時に取り組みました。

4. 費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

- (1) 留学時のレート： 0.41円/フオリント
- (2) 航空運賃： 片道約7万
- (3) 住居費(月額)： 260€ × 留学期間月数 5 カ月 = 1300€
- (4) 食費(月額)： 約3万円 × 留学期間月数 5 カ月 = 15万円
- (5) 保険料： 4260円
- (6) その他： _____
- (7) 留学費用の合計： 約50万円

5. その他 自由に記入してください。

一年次のアメリカ留学で、入学時の英語力の低さから専門科目を履修できなかった悔しさと、今まで触れて来なかった文化の違いに興味を持ち、次はヨーロッパへ留学したい。交換留学のリストの中から何か惹かれるものを感じた。そんな理由で選んだハンガリーですが、とても満足のいく留学生活になりました。

出発前に綺麗に加工された写真を見て、現物にがっかりすることを恐れ、知識を全く持たないままブダペストへ渡航しましたが、その美しさに感動しました。街並みやハンガリー料理など魅力をたくさん見つけました。日本ではあまり馴染みのない国ですが、実際に生活してみると、多国籍企業も進出しており生活において不便と感ずることはほとんどありませんでした。

知り合いもなく、知識もなく、現地の言葉も話せない私にとって今回の留学は冒険でした。未知の世界へ身を置くことで、自分で考え行動し精神的に強く成長することができたと思っています。多国籍な友達にも恵まれ楽しい留学生活を送ることができました。今後の就職活動、将来のキャリアにも、是非この経験を活かしていきます。

6. 留学先大学のキャンパス等、思い出に残る写真をぜひ添付して送信してください。